

第3四半期 決算集計報告



1月の下旬からスタートした3月期決算企業の第3四半期決算も2月中旬に終わりました。そこでその結果をTOPIX500採用の3月期決算銘柄を対象に集計してみると、上方修正に踏み切った企業数56に対して、下方修正に追い込まれた企業44と、上方修正が下方修正を上回りました。

しかし、金額で見ると下方修正が上方修正を大きく上回ります。原油価格の下落や新興国の景気減速、スマホの失速などを受けて下方修正が1兆円余りに上ったのに対して、上方修正は2800億円強に止まり、トータルでは7300億円程度の下方修正となりました。

下方修正で金額が特に大きかったのがJXホールディングス(5020)で、1100億円の営業赤字予想が1000億円の営業赤字と2100億円の下方修正となっています。また、不適切会計問題で揺れた東芝(6502)が営業利益を900億円引き下げたほか、日立(6501)も当期利益を700億円下方修正しています。

一方で上方修正が目立ったのが原油価格下落の恩恵を受けた電力や医薬品で、中部電力(9502)を初め3つの電力会社が営業利益を上方修正しています。また、医薬品では武田薬品工業(4502)や田辺三菱製薬(4508)、第一三共(4568)、小野薬品工業(4528)などが営業利益の見通しを引き上げています。

【主な下方修正銘柄】

決算 発表日	銘柄	営業利益(単位:百万円)			
		第3四半期実績 (前年同期比)	従来通期会社予想 (前期比)	今回通期会社予想 (前期比)	会社予想 修正額
2月3日	5020 JX	▲ 79,270 (-)	110,000 (-)	▲ 100,000 (-)	▲210,000
2月4日	6502 東芝	▲ 229,507 (-)	▲ 340,000 (-)	▲ 430,000 (-)	▲90,000
2月3日	6501 日立(当期利益)	172,966 (+6.5%)	310,000 (+42.5%)	240,000 (+10.4%)	▲70,000
2月9日	5021 コスモHD	▲ 19,606 (-)	37,000 (-)	▲ 19,500 (-)	▲56,500
2月4日	1605 国際石開帝石	338,354 (▲ 25.3%)	418,000 (▲ 21.9%)	364,000 (▲ 31.9%)	▲54,000
2月1日	5401 新日鉄住金(経常利益)	185,008 (▲ 46.1%)	250,000 (▲ 44.7%)	200,000 (▲ 55.7%)	▲50,000
2月4日	8031 三井物(当期利益)	134,438 (▲ 47.2%)	240,000 (▲ 21.7%)	190,000 (▲ 38.0%)	▲50,000
2月2日	5019 出光興産	▲ 18,175 (-)	40,000 (-)	3,000 (-)	▲37,000
1月29日	5411 JFE(経常利益)	63,034 (▲ 62.7%)	100,000 (▲ 56.7%)	65,000 (▲ 71.9%)	▲35,000
1月29日	6971 京セラ	66,020 (▲ 26.8%)	110,000 (+17.7%)	85,000 (▲ 9.0%)	▲25,000

【主な上方修正銘柄】

決算 発表日	銘柄	営業利益(単位:百万円)			
		第3四半期実績 (前年同期比)	従来通期会社予想 (前期比)	今回通期会社予想 (前期比)	会社予想 修正額
1月29日	9502 中部電	237,913 (+282.6%)	230,000 (+114.6%)	260,000 (+142.6%)	+30,000
1月28日	9506 東北電	141,495 (+7.3%)	148,000 (▲ 12.8%)	174,000 (+2.5%)	+26,000
1月29日	9531 東ガス	128,412 (+126.3%)	168,000 (▲ 2.2%)	188,000 (+9.5%)	+20,000
1月29日	9504 中国電	29,510 (▲ 30.0%)	28,000 (▲ 60.8%)	44,000 (▲ 38.3%)	+16,000
2月3日	4502 武田	167,480 (▲ 15.9%)	105,000 (-)	120,000 (-)	+15,000
1月29日	4568 第一三共	150,412 (+50.4%)	120,000 (+61.2%)	130,000 (+74.7%)	+10,000
1月29日	9202 ANAHD	116,760 (+30.8%)	115,000 (+25.6%)	125,000 (+36.6%)	+10,000
2月3日	4508 田辺三菱	91,904 (+44.5%)	82,000 (+22.1%)	92,000 (+37.0%)	+10,000
2月2日	4528 小野薬	22,324 (+35.5%)	15,200 (+2.7%)	24,000 (+62.2%)	+8,800
1月28日	9533 邦ガス	44,130 (+204.8%)	46,000 (+59.9%)	53,000 (+84.3%)	+7,000

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会